

地域名	国頭村
事業主体	国頭村商工会
参画団体	<p>【公的機関】 国頭村、国頭村商工会</p> <p>【民間企業等】 (株)デジタルあじまあ、(株)生活協同組合コープおきなわ、(株)沖縄県物産公社 奥暁グループ、宮里養豚、長命茶本舗、(株)のうけん、 (株)スマイルフレーバー沖縄、(有)アダ・ファーム、ゆいゆい国頭、ホテル国頭 酒楽 灯る小あ～、(有)みやしろホテル、JTB沖縄、JALプライベートオクマ、 きじむなあ、やんばるリゾート&ファーム、(有)奥間給油所、長命田本舗</p> <p>【民間団体】 国頭村森林組合、JAおきなわ国頭支店、国頭漁業協同組合、奥茶業組合</p> <p>【NPO 法人】 NPO 国頭ツーリズム協会</p> <p>【その他】 生活研究会</p>
活用する地域資源	<p>【現在活用を推進している地域資源】</p> <p>豊かな自然を持続可能な活用により「癒し」をキーワードとした「森林セラピーロード認定コース」と「やんばる学びの森」の利活用により環境学習及び滞在型入客の推進を図ると同時に、イノブタ生産協議会と連携し新たな特産品開発を目指す。</p> <p>更に、パイアの脂肪分解酵素を失わず加工する技術が確立しつつあり、健康志向の需要の高いこの時代にマッチした製品開発等、可能性を大いに秘めている。また、緑茶の新たな製品開発、昔から生産されているくみすくちん茶（薬草茶）の高付加価値による新たな商品開発等、既に研究されている部分もある「やんばる」の自然、及び文化面等全てが「宝」である。</p>
これまでの活動内容	<p>1. 観光開発関連</p> <p>森林セラピー関係は、協議会を中心にプログラムを検討中でありモニターツアー等3回実施し、今後は宿泊事業所等と連携を図り実際の受入に取組む準備を進めている。</p> <p>やんばる学びの森は、NPO法人国頭ツーリズム協会が運営しており環境教育や子どもサミット等を実施している。</p> <p>エコ・スポ公園（野球場、陸上競技場、パークゴルフ場、テニスコート）はプロ野球、高校、大学、社会人野球のキャンプの誘致。他に、社会人を中心とした陸上合宿、高校、大学等のソフトテニス合宿誘致を実施し、また、全国ふれあいパークゴルフ大会などを実施している。</p>

2. 特産品開発関連

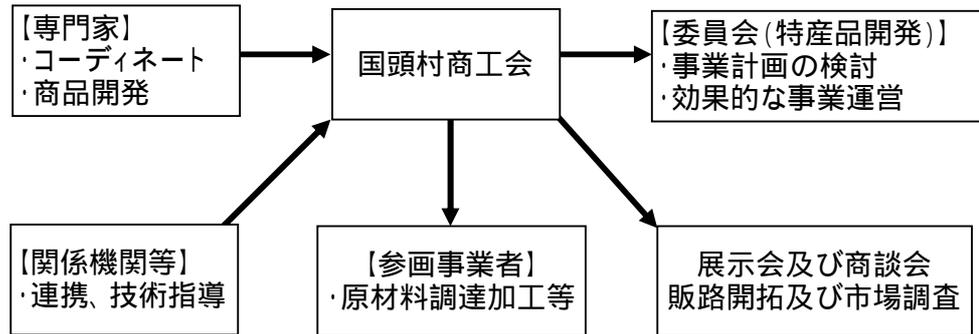
パパイアの酵素を失わないために低温乾燥による一次加工に成功しており商品化は目の前に来ている。

露地栽培では日本一早く収穫が出来る緑茶に関しては、既に検討委員会にて味等の確認は済んでおり製品化のためのデザイン及びネーミング等の検討により新たな製品開発が期待されている。

イノブタは、道の駅において「しゃぶしゃぶ・イノブタそば」をテスト的に販売開始しており、新たな高付加価値を高めるため「燻製ハム」を研究中である。イノブタの生産量も安定してきており国頭のブランド品として知名度を上げて行きたい。

昭和63年度のむらおこし事業で開発した、シイラの加工品はその後鮮魚の状態での値段が安定し加工品としての価値が薄れてきたことと、取り扱う製造業者が製造を中止したため長くは続かなかった経緯があり、製造事業所との連携と地域全体の連携強化が必要である。

【推進体制】



今後の課題
や活動計画

観光関係については、行政と民間が一体となって統一した考えとデザイン(ロゴ)を起用し、地域ぐるみの受入対応が必要不可欠となる。更に、現在ガイド業として実際に活動している方々と宿泊事業者等との連携強化や森林セラピーの受入体制作りが急務となってきている。

「癒し、イノブタ、パパイア、おくみどり茶、くみすくちん茶」等の地域ブランドの確立により、生産者と商工業者の一体化により地域商工業を含めた全体の活性化を目指す

「癒し」をキーワードとした森林セラピー等並びにツーリズム等の知名度を高める

スポーツ合宿のメッカとして知名度を高める

「猪豚」、「パパイア」、「おくみどり茶」、「くみすくちん茶」、「薬膳味噌」、「ニッケイそば」、「椿油」等々の地域ブランドとしての確立及び認知を図る

地域ブランド(特産品認定制度)認定制度の確立

<p>行政の支援</p>	<p>【国】 平成20年度 小規模事業者新事業全国展開支援事業 ～クイナの里「TREASURE」プロジェクト～</p> <p>【県】</p> <p>【市町村】</p> <p>【その他】</p>
<p>その他</p>	
<p>連絡先等</p>	<p>国頭村商工会 電話番号：0980-41-5116 ホームページ http://www1.ocn.ne.jp/~kunigami/</p>